

• 34: ○二十番(佐々木心)

検索語: なし

○二十番（佐々木心）自由民主党の佐々木心です。議長のお許しをいただきましたので、通告に従い、順次一般質問を行います。

令和初の政令指定都市の選挙が行われ、太白区選挙区において六千七百十二票というありがたい責任重い票をいただき、身の引き締まる思いであります。二期目ではありますが、改めて先輩議員、前列二列目にいる六名の同期議員、一期生の皆様、そして市長を初めとした執行部の皆様、よろしく願いいたします。

郡市長の二年を振り返り、二点伺います。

まず、仙台市議会議員選挙の投票率についてであります。

今回の選挙は、東日本大震災以降三度目の選挙であり、仙台市議会議員選挙では十八歳選挙権が初めて行われた選挙でありました。本市における具体的な対策として、十八歳選挙権については、かねてよりそのあり方について大きな疑問を持っていて、議会のさまざまな場面で指摘、提案してきました。

初めて導入された三年前の参議院選挙では、本市の全体の投票率は五二・〇四%で、十八歳が五一・七七%、十九歳の方が四一・八九%。本年七月に行われた投票率は全体では大きく変わらず、十八歳が四二・二九%、十九歳の方が三四・八二%と、対象となった十八歳、十九歳の投票率は大きく下がる状況であります。それは今回の仙台市議選でも、二年前の市長選でも同様な状況であります。

選挙啓発は継続して投票率向上策を行わなければなりません。今回の仙台市議選の啓発イベントでは、仙台が誇るべき食品を候補者にして、仙台名物総選挙が実施されました。イベント

の運営は大学生や専門学生でつくる市議選啓発活動グループ、せんだい学生投票部の十名が行い、模擬投票であります但し手順は実際と同じであります。三日間で場所を変え投票を行いました、結果は八百六十四票中トップ当選は三百十五票を獲得した牛タンでありました。選挙管理委員会の取り組みに一定の御評価をしますが、改善されるまで可能な限り継続的に行わなければいけません。

また、私はかねてよりアエルで行えるような期日前投票所の拡大などを求めてきました。今月行われる宮城県議会議員選挙では、投票率向上を目指し、平日一日限定であります、県内初の小牛田農林高校で実施予定であります。この取り組み姿勢を是とするものであります。選挙の所管は選挙管理委員会で行うことを重々承知していますが、では基礎自治体の行政のトップとして、やるべきことをどのように考え、投票率の改善について郡市長はどのような御所見かをお伺いいたします。

次に、今回の定例会では、新たな任期で初当選の方々が十三名当選し、我が会派は五名全員が登壇して初陣を飾り、全体でも十一名の議員が一般質問に登壇され、改めて私自身も初心を忘れることなく緊張感を持ち、この場に立たせていただいています。しかしながら、緊張感を保っている中で、今定例会の途中であります、質疑の際の答弁の言い間違いが多いように感じています。さきの任期、平成三十一年第一回定例会では、言い間違いどころか答弁漏れが二件発生し、議会の緊張感に水を差す状況であり、当時の議長が厳重に注意したにもかかわらず、なお慢性的に続いていることを危惧するものであります。

残念ながら、先ほどもございました。人間なので間違いは仕方ないのかもしれませんが、新たな任期がスタートして道路照明灯問題、平成三十年度決算、行政サービスの対象年齢など、言い間違いが先ほどのも合わせて計六回に及んでいます。市民から預かっている税金に対して

も、仕事の欠如を厳しく指摘しなければなりません。これは前奥山市政には、ここまではなかったと感じています。

ポスト復興に向け、令和、新しい時代の仙台がつくられる大切な議会であります。人事権を持っている郡市長のガバナンスに、以前から大きな疑問を持っていましたので、市長の御所見をお伺いいたします。

公用車のドライブレコーダーについて伺います。

今回の選挙でも、各陣営は公職選挙法を守り、選挙カーでは前後の車両、速度やマイクの音量には最大限の注意を払って活動していますが、残念ながら心のない妨害や、クラクション等での妨害を感じたことがあるのは、私だけではありません。しかし、我々政治家はそのことを批判するのではなく、改善策を講じなければいけません。対策の一つとして、ドライブレコーダーの設置の効果は大であると考えています。

県議選を控えている候補予定者には、その旨をお伝えしていますが、そこで本市で管理している車両についてはどのようになっているのかが疑問に感じ、調べさせていただきました。平成三十一年四月現在で、一千十五台の車両を各局がそれぞれ管理している状況であります。設置状況については、百五十六台と一定の台数は設置しているように感じますが、その内訳は消防車や救急車がほとんどで、その車両を除けばたったの七台のみで、多数の車両にはついていない状況であります。

局ごとに調べれば、疑問を持つのは危機管理室には二台所有で設置なし。危機管理に疑問を覚えます。また、特に二役の車両には設置しているのかと思いきや、高橋副市長が使用している車両のみで、郡市長や藤本副市長の車両には設置していません。他自治体では、昨今のあおり運転を受け、早急に設置を進めています。また、この指摘はあおり運転で世の中がここまで

騒ぎになる前に、自由民主党の先輩議員が平成二十九年決算等審査特別委員会第一分科会で、事故件数や安全対策のために指摘をしていました。財政局長の御答弁では、情報記録をどのように管理運営するかと、費用対効果の観点から調査すると、御答弁をいただいています。

私は前職は車屋にいましたので、前後仕様のカメラを設置しても費用は三万円から四万円で設置できますし、常時は安全運転と抑止効果になり、万が一何かあったときに県警に情報提供もできます。費用対効果は一石二鳥以上の価値があります。まさしくその効果は大であると考えますが、一年が経過し、その後の調査の結果はいかがでしょうか。お伺いいたします。

全ての車両を一気にというつもりはありません。優先順位をつけ、早急に設置すべきであります。他の自治体では副町長が訴えられたケースもあり、公用の場合は運転手がいるものの、ドライブレコーダーの設置を求めます。他の自治体では副町長がその対象でありましたので、本市では設置していない車両に乗っている藤本副市長の御所見を、全体の対策も含めてお伺いいたします。

次に、ＪＲ長町駅東口ロータリーの改善についてであります。

ＪＲ長町駅の歴史をひもとけば、明治二十年、日本鉄道が開通。日清戦争時の臨時停車場を経て、明治二十九年に長町駅が開業しました。また、大正三年には、長町から秋保温泉までの馬車鉄道が開業、後に秋保電気鉄道になって昭和三十六年まで運行され、仙台市電長町線の終点ともなり、長町は仙台南部の交通拠点でありました。

昭和期に入り発展を続け、貨物輸送は増加の一途をたどり、長町駅は全国からの膨大な貨車の仕分けを行うヤードとして拡張され、東北一の規模となりました。時は流れ、戦後のモーターゼーションの急速な進展等により、陸上輸送構造に大きな変化が生じました。長町の貨物ヤード機能は宮城野に移転し、長町駅東部に数ヘクタールの大規模空閑地が発生し、昭和六十

二年の国鉄分割民営化により、貨物ヤード跡地は処分することとなりました。

東北新幹線が開業した後も、重要な幹線としてその機能を維持してきましたが、まちの機能を東西に分断し、貨物ヤード跡地の有効活用を図る上で課題となっていました。そこで、宮城県と仙台市が連携して、貨物ヤード跡地を含む長町駅周辺の計画検討を進め、あすと長町土地区画整理事業によりＪＲ長町駅の高架化がスタートしました。当時は平成十四年九月に着工し、平成十八年九月に地下鉄長町駅に近づけ、乗りかえの利便性を向上させ、新しい長町駅が完成しました。

そこで、今ではＪＲ長町駅は二〇一八年度の一日の平均乗車人員は九千五百十三人であり、宮城県内のＪＲの駅では仙台駅、あおば通駅、名取駅、南仙台駅に次いで五番目に多い駅であり、仙台市地下鉄南北線の利用者を含めると、沿線の利用者は一日約一万五千人を超える状況であります。近隣に住む一人として、あすと長町の発展を喜ぶ一人ではありますが、発展と利用者増に伴う新たな課題が生まれています。その課題が、ＪＲ長町駅東口ロータリーについてであります。

該当場所は一般車両の乗降場所が少なく、計画時より多く利用していて、また送迎のために停車して待っている車両も多く、バスが旋回等に大きな支障を及ぼしています。そして、タクシーの停留スペースが多く、実際はほとんどが使用していない状況であります。そんな状況でありながらも、太白区道路課が本年七月一日から八月三十日まで、一般車両の乗降場所を封鎖していました。私自身も大きな疑問を持っていました。

封鎖期間中は、ＪＲ長町駅で挨拶運動を行っていましたので、その現状はほぼ毎日確認をしていました。そして、ことしの梅雨は雨が多く、ふだんは徒歩や自転車を使って通勤通学する方も送迎してもらい、一般乗降場所が封鎖しているため、やむなく障害者スペース等で乗降し

ているケースを目撃している状況であります。そのような状況であり、多くの不満のお声を伺っております。そこで、早急な改善を求め、二点伺います。

一点目は、封鎖していた理由について確認をしていましたが、一部のルールを守らない方のために、一般車両の乗降場所を封鎖したと伺いましたが、改めてその具体的な理由と、封鎖していた期間中に当局にはどのような声が届いていたか、伺います。

二点目は、改善に向けて、場所の利用方法について抜本的な再整備が必要であると感じていますが、他都市をモデルにするのではなく、本市独自の、そして地域に見合ったオリジナリティで市民に利用しやすい仕様であることを求めますが、近隣町内会や関係機関との協議と、今後の方向性について担当局に伺います。

野球場整備について伺います。

地元のプロ野球球団東北楽天ゴールデンイーグルスが、二年ぶりにクライマックスシリーズ進出に喜びを感じ、勝利を期待し、ホームグラウンドに帰ってくることを一ファンとして心より祈念申し上げます。

さて、野球場の整備については、野球関係者の端くれの一人として、グラウンド環境やトイレ改修、備品整備、駐車場整備など多岐の課題があり、さきの任期中に特別委員会や常任委員会でその時々で改善を求め伺っていますが、今回一つの球場に絞り伺います。

太白区山田にある鉤取球場についてであります。本球場は国鉄仙台鉄道管理局野球部の専用グラウンドでありましたが、昭和六十二年四月の国鉄民営化とともに、国鉄清算事業団の処分対象資産となりました。そこで本市では、当該地域が野球場の空白地帯であることから、昭和六十三年三月に同球場を買収し、あわせて隣接市有地を駐車場として整備し、同年六月に市民球場として一般開放されました。

利用者人数は近年三年間では、平成二十八年一万九千四百五十六人、平成二十九年一万九千八百九人、平成三十年が一万七千四百八十九人であります。同球場は、太白区の野球グラウンドとして一定の役割を果たしているにもかかわらず、バックネット、ベンチ、応援スタンドが球場買収以降、大きな改修工事もなく現在に至っています。同グラウンドは、スポーツ少年団にとっては太白区内のメイン球場として、中総体において仙台市内では、青葉区には評定河原球場や宮城広瀬野球場、泉区にはシェルコムせんだい、宮城野区、若林区には仙台市民球場や今泉球場、そして立派に整備をされた海岸公園野球場とあり、全体的に比較しても太白区だけが取り残された感があるのは否めません。

そこで、太白区に新しい球場をと言いたいところではありますが、本市の財政を鑑みれば現時点での要望は行えませんので、せめてバックネット一帯を音響設備を備えた改修工事を行うべきと考えます。また、この項最初に述べた東北楽天ゴールデンイーグルスのホームグラウンドである楽天命パーク宮城は民間に委ねることにより、宮城球場から観覧車やメリーゴーランドを備えたボールパークと呼ばれる球場になりました。トップが変われば大きく変わる象徴であります。

さきの消防特別点検でも、鉤取球場に足を運ばれた市長は、同球場の現状を確認され、同じ思いを持っていただいたかと感じますので、ここは担当局に御所見をお伺いいたします。

本市の子供たちの遊び場確保策について伺います。

ことしは長い梅雨が明け、夏猛暑の日と昨今の気象の変化に対応するのが困難に感じる状況であります。それは子供たちにも言えることでもあります。遊びの場所のあり方を早急に考えなければいけません。

悪天候時はもちろんのこと、天気がよ過ぎて学校ではプールにも入れなくなる世の中になり

ました。その対応を否定するのではありませんが、では行政がやるべきことは何なのかを考えると、子供たちの遊びの場を新設整備しなければなりません。

白石市では、山田市長の選挙公約により、就任後たった二年で計画実施し、こじゅうろうキッズランドを整備しました。山田市長の英断と子供たちを宝と思う気持ちを高く評価する思いであります。こじゅうろうキッズランドの整備費と財源、利用人数を調べると、整備費用は約三億七千万円で、交付金を活用し、一般財源は六千四百万円余であります。先ほどもございましたが、利用実績は計画時より早く先月十万人を超え、大変にぎわっていました。私も家族で一緒に行ってきて、子供たちも再度行きたいと催促される状況であります。

本年度八月末のデータであります。利用者の構成は仙台市から三一・四%の方が訪れている状況で、このデータを見ても本市に必要性を感じます。子育て世代の保護者からのお声は、仙台市にも同様な施設を新設してほしい強い要望であります。

仙台市私立幼稚園PTA連合会主催で、六月二十二日に開催された親と子の運動遊び大会に市長の御臨席をいただき、当日は小雨まじりの天気であり、屋内で親子が触れ合う姿を見て、悪天候時での遊び場の必要性を感じていただいたかと思えます。そして、今定例会では、多くの同僚議員が子供たちの遊び場の確保、河川、公園、大規模整備と取り上げ、子育て世代の共通の要望であり、必要性は待ったなしの状況であることを強く要請をいたします。

室内での遊び場を整備し、本市の子供たちに新設整備することにより、例示を挙げたとおり、結果的に本市への集客となり、シティセールスにつながる可能性が大であります。約二百億円をかけて二重行政になりかねない音楽ホールを整備するなら、白石市の整備費用であります。約四億円で整備可能な、悪天候時でも子供たちが屋内で遊べる施設を新設すべきですが、同じ行政のトップである市長の御所見を伺います。

以上伺い、一般質問を終わります。

御清聴ありがとうございました。（拍手）

• 35: ○市長(郡和子)

検索語: なし

○市長（郡和子）ただいまの佐々木心議員の御質問にお答えを申し上げます。

まず、投票率の向上に関するお尋ねでございます。

今回の市議会議員選挙の投票率は三六・〇七%と、四年前を若干上回ったものの、高い数字とは言いがたい状況であります。

選挙は民主主義の根幹でありまして、市政における主役、主権者は市民であるという理念をいま一度多くの市民の皆様にご認識をいただき、投票行動によってみずからの考えや思いをそれぞれの一票に託していただくことが重要だと存じております。

投票率の低下は、地方のみならず国におきましても重要な課題でありますことから、有権者が投票しやすい環境の整備や、国と地方自治体が連携した主権者教育のさらなる充実などについて、指定都市市長会として本年七月に国に対して要請を行ったところでございます。

選挙管理委員会への積極的なサポートとあわせ、引き続き投票率向上のための各般の取り組みに意を用いてまいります。

次に、市長のガバナンスに関する御質問がございました。

今定例会における答弁の言い間違いが多いとの御指摘をいただきました。もとより市民の皆様方の多様な御意見を代表される市議会の皆様方からの御質問に対し、真摯かつ誠実にお答えしてまいりますのが、私どもの責務であり、市政運営の基本でございます。

私を含め、この場で説明に当たる者が各所管分野の責任者としてこの席におり、市を代表し

て答弁する任を負うという自覚、緊張感を持って臨んでまいります。

そのほかの御質問につきましては、藤本副市長並びに関係局長から御答弁を申し上げます。

私からは以上でございます。

• 36: ○副市長(藤本章)

検索語: なし

○副市長（藤本章）ドライブレコーダーの設置についての御質問にお答えいたします。

昨年来、他自治体の設置状況やその効果などについて調査を行ってまいりましたが、事故発生時の過失割合の明確化、職員の安全運転意識の向上などといった効果が確認されたところでございます。また、交通局におきましても、事故発生時の正確な状況把握の手段として、画像データが役立っております。

私といたしましても、ドライブレコーダーについては一定の効果があるものと認識しておりますことから、担当部局におきましてドライブレコーダーに記録された情報の特性を踏まえた取り扱い方法のほか、車両の用途や稼働状況などを勘案した優先度について検討を行っているところでございます。

引き続き、必要性、緊急性について精査検討を進め、段階的な導入も視野に入れながら対応してまいりたいと存じます。

以上でございます。

• 37: ○子供未来局長(岡崎宇紹)

検索語: なし

○子供未来局長（岡崎宇紹）子供たちの屋内の遊び場についてのお尋ねにお答えをいたします。

子供の健やかな育ちにとりまして、体を使って遊べるような環境は大変重要なものと認識しております。また、子育て世帯へのアンケートなどでも、子供が遊べる場所、とりわけ屋内で楽しめる施設をつくってほしいといった御意見もいただいております。

御指摘のような施設を市が整備することにつきましては、施設の規模や立地、用地の確保、建設、運営に係る費用なども含め、さまざまな課題があらうかと思えます。

本市におきましては、市内に百十二館ある児童館や各区ののびすくなどが子供たちの遊び場、また子育て世代の交流の場ともなっております。

今後ともこうした資源を最大限に活用していくとともに、子供たちが伸び伸びと遊び、さまざまな体験をすることができる環境のさらなる充実に向け、知恵を絞ってまいりたいと存じます。

以上でございます。

• 38: ○文化観光局長(天野元)

検索語: なし

○文化観光局長(天野元) 私からは、鉤取球場の改修についてのお尋ねにお答えいたします。

同球場は、開場以来、少年野球や中学校の部活動、草野球など、地域の皆様を初め多くの市民の皆様に御利用をいただいております。

この間、芝の入れかえや屋外トイレの整備をしたほか、ダッグアウトの補修など、必要に応じて修繕を行ってきたところでございます。

将来的な大規模改修も見据えつつ、本市全体の野球場の配置状況や、鉤取球場に対する利用者及び地域の皆様のニーズや御意見等も踏まえながら、その改修のあり方について検討してま

いりたいと考えております。

私からは以上でございます。

• 39: ○太白区長(佐藤伸治)

検索語: なし

○太白区長（佐藤伸治） J R 長町駅東口ロータリーに関するお尋ねにお答えを申し上げます。

このロータリーにございます一般車乗降場でありますけれども、近年、長時間駐車をする車両が増加をし、大変多くの苦情を頂戴しておりました。このため、看板の設置や駐車車両のフロントガラスにビラを置くといった注意喚起を行いました。一向に状況が改善されず、事前に告知を行いました上で、一旦閉鎖することといたしたものでございます。

閉鎖期間中は、どこで乗り降りすればいいのか、路線バスの通行に支障を来しているなど数件の苦情が寄せられましたものの、閉鎖に至った経緯を丁寧に御説明をし、御理解をいただけてまいりました。その後、路面表示や看板を新しくし、送迎用車両のみ停車が可能であることを明示するなど、必要な対策を講じ、また仙台南警察署の御協力もいただきながら、利用を再開したところでございます。

このロータリーは完成から約十二年が経過をし、周辺環境も大きく変わっております。今後は、こうした状況を踏まえまして、地元町内会や商店会、関係機関、団体の皆様と意見交換を重ねながら、例えば一般車乗降場やバス待機スペースを拡張するなど、より一層快適に御利用いただけますように、所要の対応を進めてまいりたいと考えております。

以上でございます。

• 40: ○二十番(佐々木心)

検索語: なし

○二十番（佐々木心）御答弁いただきましてありがとうございます。

二点、再質問させていただきます。

一点目は、ドライブレコーダーについてであります。

緊急性、そして費用対効果については、先ほど御説明をさせていただきました。このたったの七台というところ、もっと細かく内訳を伝えると、青葉区役所が一台、そして若林、太白区役所が二台ずつなんです。あと一台は議会車なんです。よって、本庁でついている車は、高橋副市長が乗っている車だけなんです。これは安全の観点からも、しかも区役所で使っている車はパトロールで使用している車に設置しているんです。費用対効果は一石二鳥以上あるというふうに伝えているわけでありまして。本庁でも稼働率の多い車はあるかと思えます。それを順次適切に、早急に行うべきだというふうに言っておりますので、今の御答弁では正直その計画性がわからない状況でありますので、そこについては再度御答弁をいただきたいと思えます。

もう一点目は、子供の遊び場の確保でございます。先ほども同僚議員、質問させていただきました。今回の定例会、多くの同僚議員が同じテーマで質問させていただきました。これは言わなくても、もうわかるかと思えます。いち早く整備しなければいけないんです。御答弁の中で、のびすく、そして児童館、御回答いただきました。そう来るだろうなと思ってましたよ。それじゃだめなんですよ。

そういう箱物、屋内で遊べる場所をつくることによって、本市に訪れる方もいらっしゃる。そういう観点でも質疑をさせていただいているわけでありまして。のびすく、児童館が悪いということではないんですが、それだけじゃ足りないんです。そのことを踏まえ、子供未来局長が御答弁をいただいておりますが、私は市長に第一問で伺っております。

山田市長は就任からたった二年で、選挙公約のもと実施しました。郡市長も就任二年で実施

した施策があるじゃないですか。三十五人以下学級、市長の強い思いで市役所の職員は何がで
きるのか、何が可能性があるのかを調べ、我々議会に諮り、成立した案件であります。そうい
った思いも含め、市長、やる気があるのかないのか、そこをはっきり伺いたいと思います。

以上二点伺います。

• 41: ○市長(郡和子)

検索語: なし

○市長(郡和子) お答えいたします。

子供たちが伸び伸びと体を動かして遊べる環境というのは、健やかな成長にはやはり不可欠
なものであろうというふうに認識をしております。御紹介いただきましたような施設の整備に
つきましては、財源の問題など課題もございますが、公園や児童館その他の公共施設など、既
存の資源の有効活用を図っていくことで、子供たちの遊びの環境を充実させていくことがまず
は大事と考えております。

その上で、例えば、今後老朽化が進む公共施設の再整備、大規模改修などが計画の俎上に上
ってまいりますけれども、その中で子供、子育て支援の機能を組み込む工夫をするですか、
あるいは民間による整備を誘導する仕掛けですか、さまざまな手法が考えられるかと思いま
す。

私が申し上げました子育てするなら仙台という理念をまちづくりのあらゆる分野で具現化し
ていく中で、子供たちが伸び伸びと遊べる環境づくりについても検討を進めてまいります。
ます。

• 42: ○副市長(藤本章)

検索語: なし

○副市長（藤本章）ドライブレコーダーについての再度の御質問にお答えいたします。

相当数の車についてドライブレコーダーはついておらないのが現在の状況でございますし、その車の利用については各局、各区それぞれ対応がございますことから、一定程度の必要性については調査をする必要があろうかと思いますが、そうした調査をしていく中で設置の判断を整理していきたいと存じます。

• 43: ○二十番(佐々木心)

検索語: なし

○二十番（佐々木心）御答弁をいただきましてありがとうございます。

市長、子供の遊び場の確保について再々質問をさせていただきます。

財源というお話がありました。私も白石に行ってきた資料もいただいてきました。今年度の運営費の予算、令和元年度の見込みでありますけれども、五千万円計画していて年度途中でありますが、もう三千万円近く回収しているんですよ。費用対効果、財源、できるんですよ。白石のこじゅうろうキッズランド、入園料幾らか御存じですか。たった三百円ですよ。室内で遊ぶ場所は確かにいっぱいあるんですよ。民間のところもあるんですよ。イオンに行けばあるんですよ。私も行くんですよ。ただ、それじゃなく、安価で、そして行政がやらなければいけない。市長の思いはどうなのかということを知っているんですよ。やるの、やらないの、どっちなのということなんです。

ぼうっとしてると、チコちゃんに叱られちゃう時代なんですよ。市長、これは早急にやらなければいけません。ぜひにもう一度御答弁をお願いしたいと思います。

• 44: ○市長(郡和子)

検索語: なし

○市長（郡和子）重ねての御質問でございます。

子供たちが本当に体をいっぱい動かして遊ぶということは重要だというふうに認識をしておりますが、先ほども申し上げましたけれども、今本市が有している公園や児童館、その他の公共施設、これらの既存施設の有効活用というのがまずは重要だと思っております。あの冒険広場も長い間、お子さんたちに遊ぶ場所を提供できなかったわけですが、このたびリニューアルしてオープンすることができました。そこではNPOの方々もさまざまな活動をしていただいて、子供たちの育ちのサポートをしてくださっております。

私といたしましては、まずは今ある資源をどのように活用していくのか。そしてまた、先ほど申しましたけれども、今後老朽化が進む公共施設の再整備、大規模改修などの計画が俎上にあがってまいりますけれども、その折にどのような子供、子育てを支援する機能が組み込めるのかなど、考えてまいりたいというふうに思います。